

















- |  |  |
|--|--|
|  コジイ-カナメモチ群集      |  スギ群落               |
|  アラカシ群落           |  ヒノキ群落              |
|  コナラーアベマキ群集       |  拡大竹林 <sup>※1</sup> |
|  コナラーアベマキ群集(タケ侵入) |  放置竹林 <sup>※2</sup> |
|  コナラーアベマキ群集(低林)   |  管理竹林               |
|  タラノキ-クサイチゴ群集     |  耕作地など              |
|  エノキ-ムクノキ群集       |  人工改変地              |
|  アカマツ-モチツツジ群集     |  開放水域               |

※1 この拡大竹林には、傾斜地の竹林と平坦な竹林であっても拡大竹林であると推察できるものを含んでいます。  
 ※2 地形が棚田状で、樹高が高い竹林を放置竹林としています。

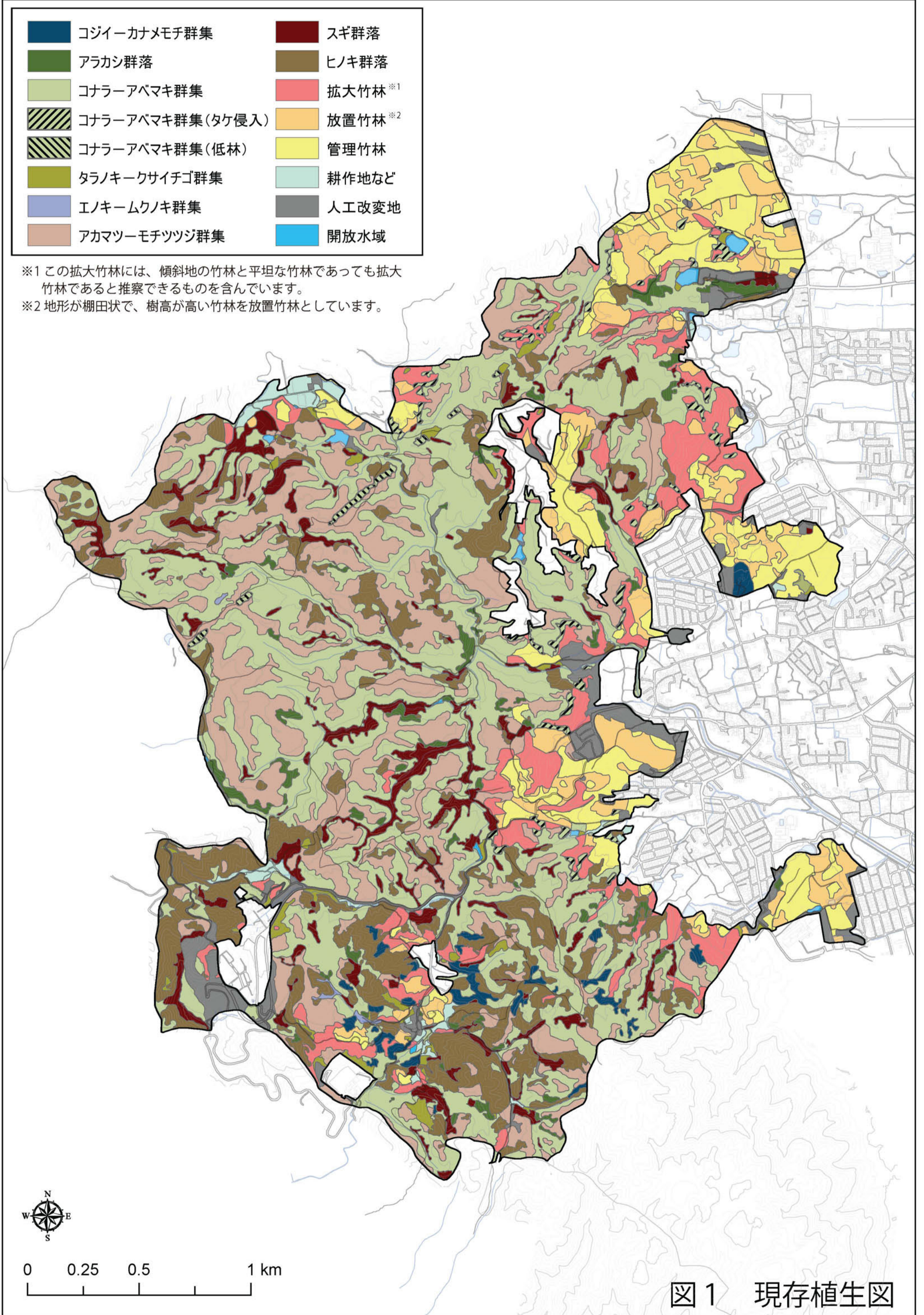


図1 現存植生図

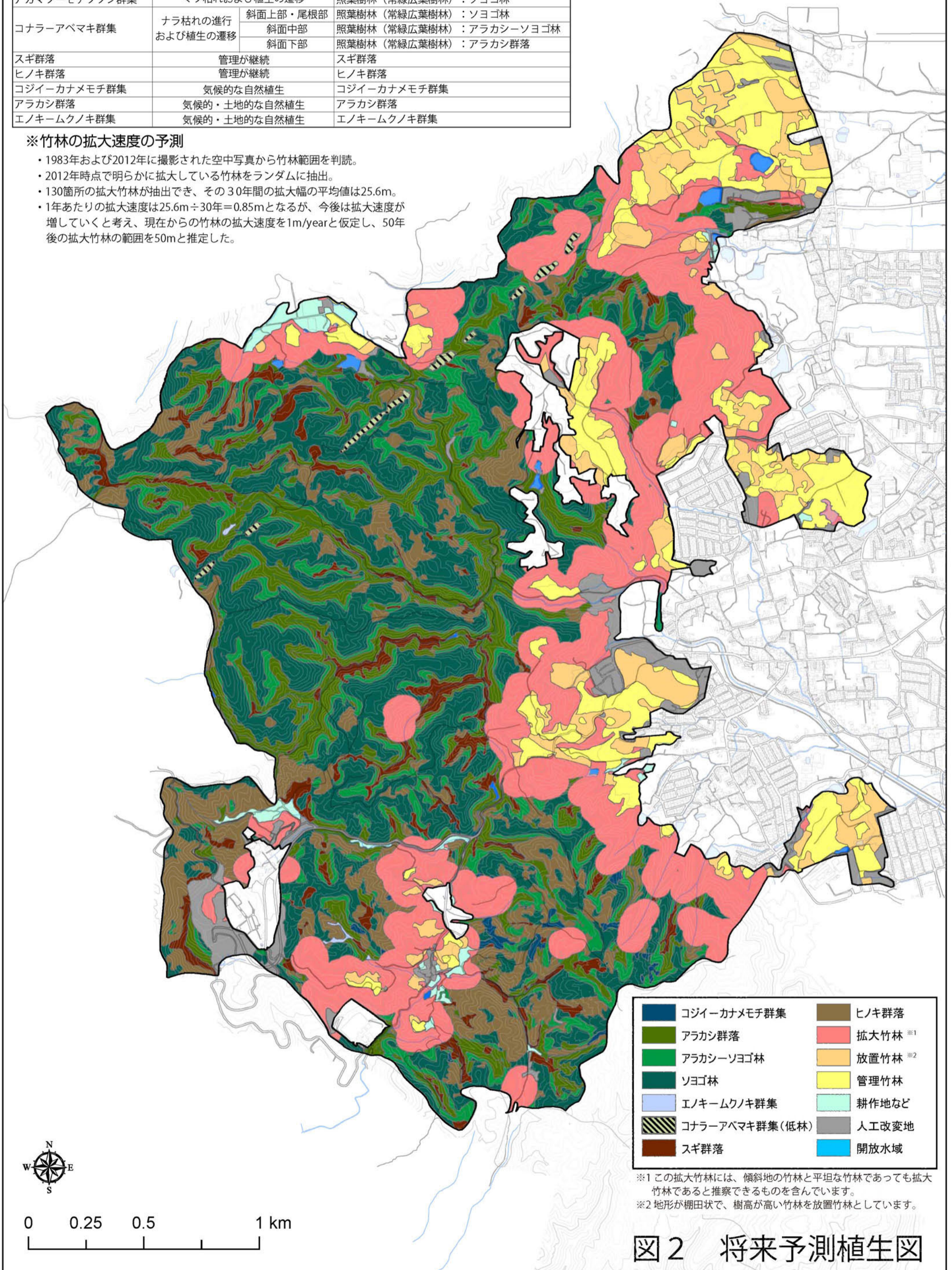


### ◆将来予測の考え方

群落名	条件	50年後予測	
管理竹林	管理が継続	管理竹林 (タケノコ生産地)	
放置竹林	竹林が拡大	拡大竹林 (拡大速度 1m/year) ※	
アカマツ-モチツツジ群集	マツ枯れおよび植生の遷移	照葉樹林 (常緑広葉樹林) : ソヨゴ林	
コナラーアベマキ群集	ナラ枯れの進行 および植生の遷移	斜面上部・尾根部	照葉樹林 (常緑広葉樹林) : ソヨゴ林
		斜面中部	照葉樹林 (常緑広葉樹林) : アラカシーソヨゴ林
		斜面下部	照葉樹林 (常緑広葉樹林) : アラカシ群落
スギ群落	管理が継続	スギ群落	
ヒノキ群落	管理が継続	ヒノキ群落	
コジイ-カナメモチ群集	気候的な自然植生	コジイ-カナメモチ群集	
アラカシ群落	気候的・土地的自然植生	アラカシ群落	
エノキ-ムクノキ群集	気候的・土地的自然植生	エノキ-ムクノキ群集	

#### ※竹林の拡大速度の予測

- ・1983年および2012年に撮影された空中写真から竹林範囲を判読。
- ・2012年時点で明らかに拡大している竹林をランダムに抽出。
- ・130箇所の拡大竹林が抽出でき、その30年間の拡大幅の平均値は25.6m。
- ・1年あたりの拡大速度は $25.6m \div 30年 = 0.85m$ となるが、今後は拡大速度が増していくと考え、現在からの竹林の拡大速度を1m/yearと仮定し、50年後の拡大竹林の範囲を50mと推定した。

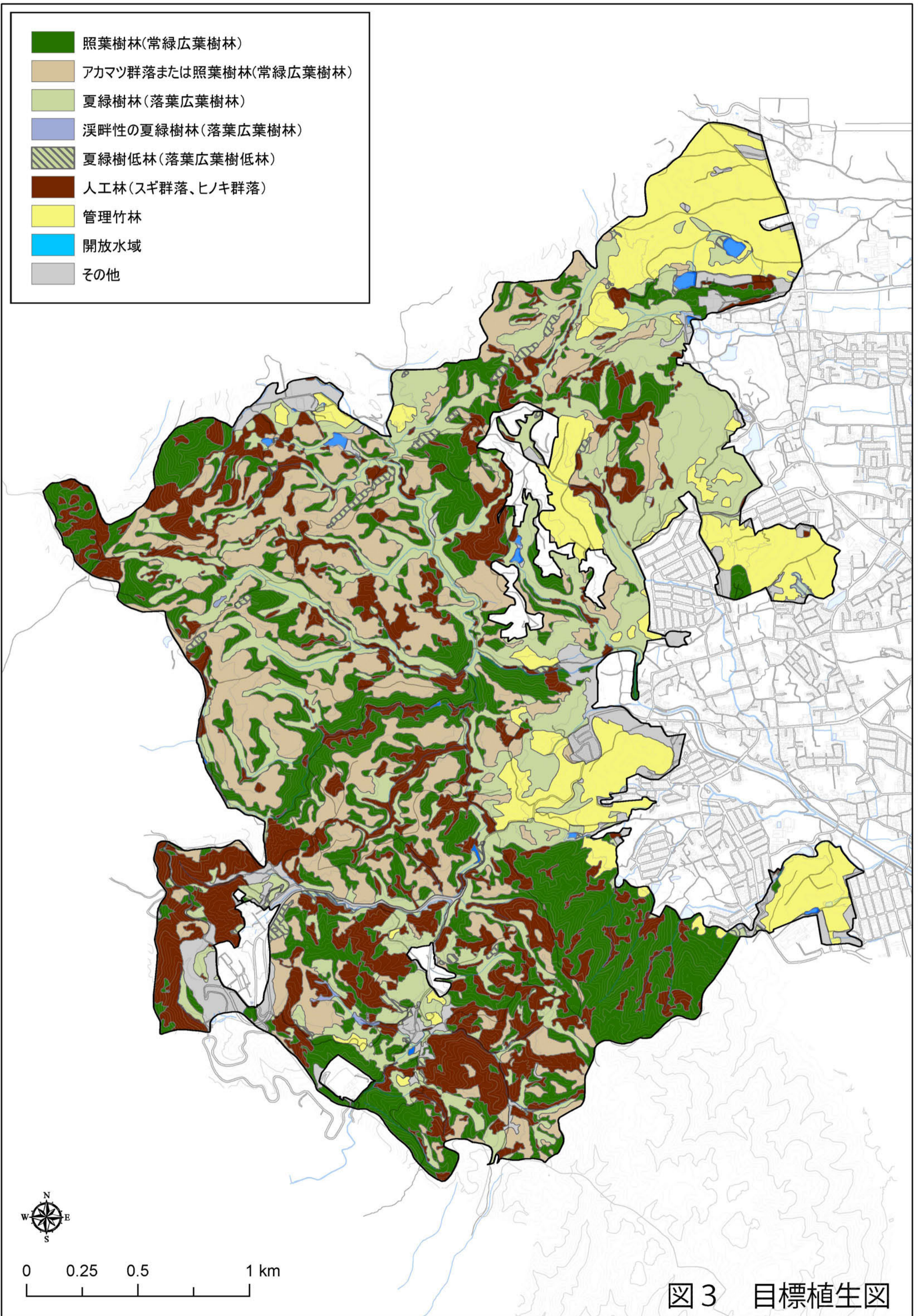


コジイ-カナメモチ群集	ヒノキ群落
アラカシ群落	拡大竹林 ※1
アラカシーソヨゴ林	放置竹林 ※2
ソヨゴ林	管理竹林
エノキ-ムクノキ群集	耕作地など
コナラーアベマキ群集(低林)	人工改変地
スギ群落	開放水域

※1 この拡大竹林には、傾斜地の竹林と平坦な竹林であっても拡大竹林であると推察できるものを含んでいます。  
 ※2 地形が棚田状で、樹高が高い竹林を放置竹林としています。

図2 将来予測植生図







	植生の差	管理量の大小
	特大	++
	大	+
	大	-
	中	+
	中	-
	小	-

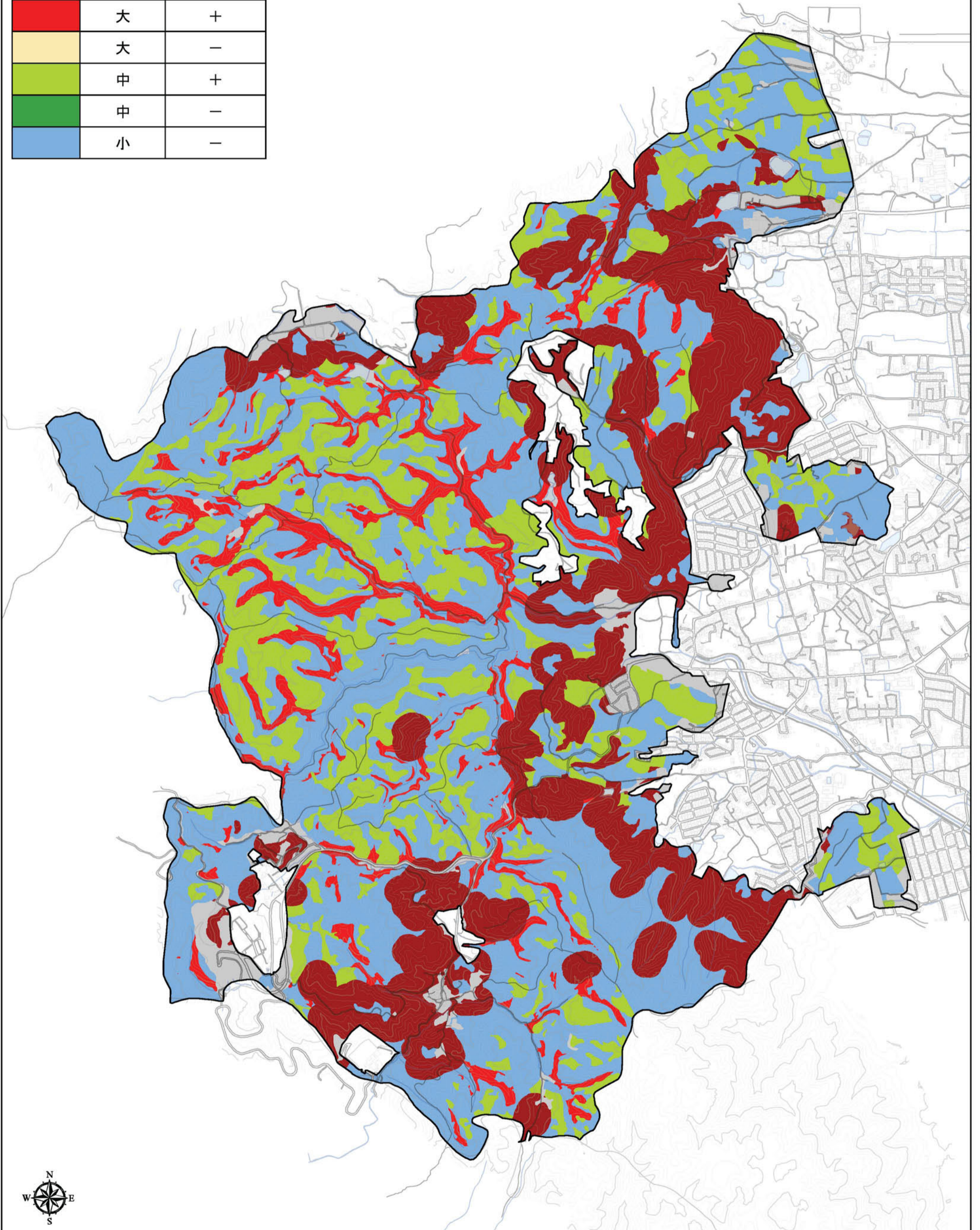


図4 乖離診断図(将来予測植生と目標植生)



	植生の差	管理量の大小
	特大	++
	大	+
	大	-
	中	+
	中	-
	小	-

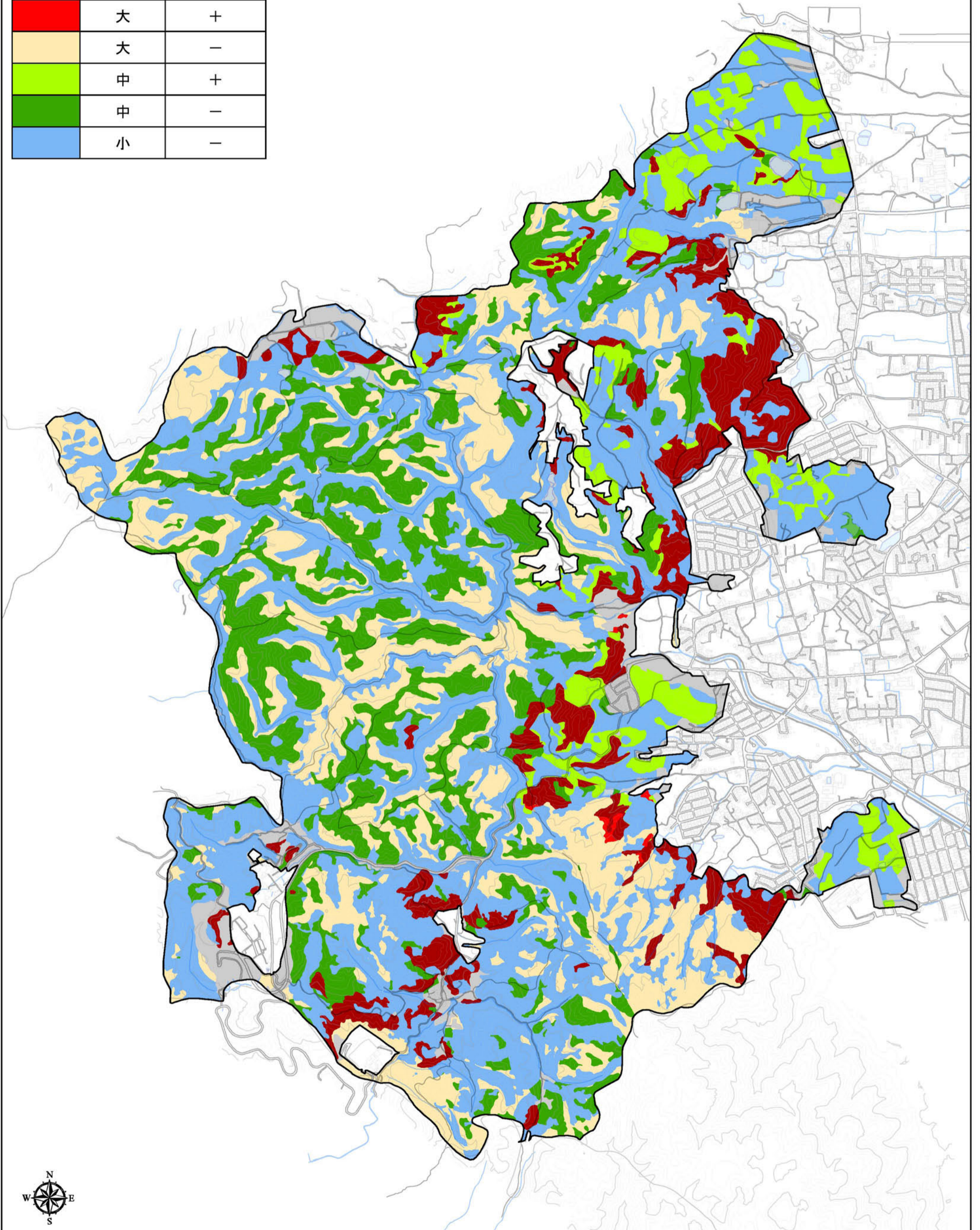


図5 乖離診断図(現存植生と目標植生)



植生から評価した  
植生域区分と  
整備の優先順位

- 1 高い
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6 低い

耕作地・他

※ハッチは人工林

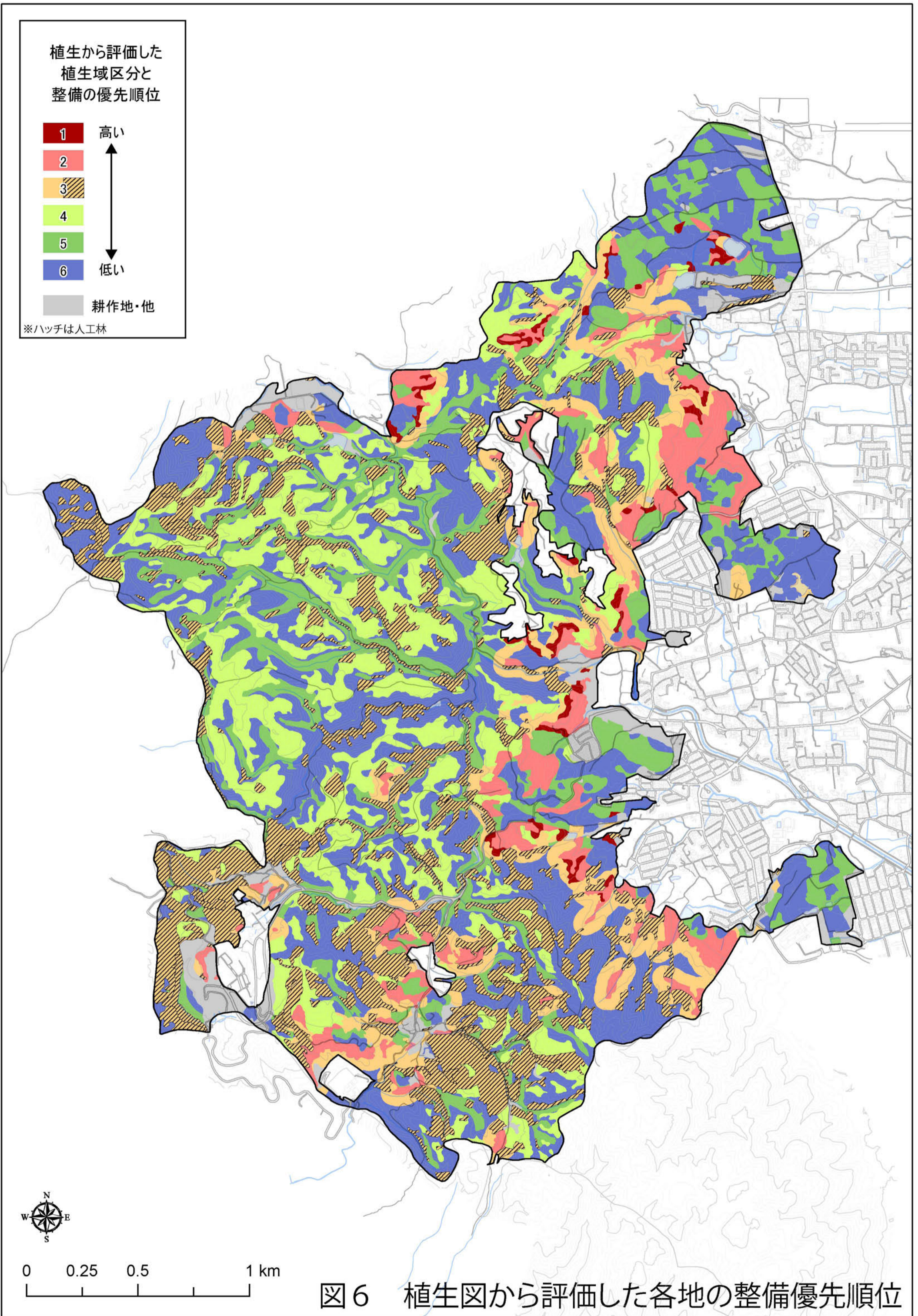


図6 植生図から評価した各地の整備優先順位



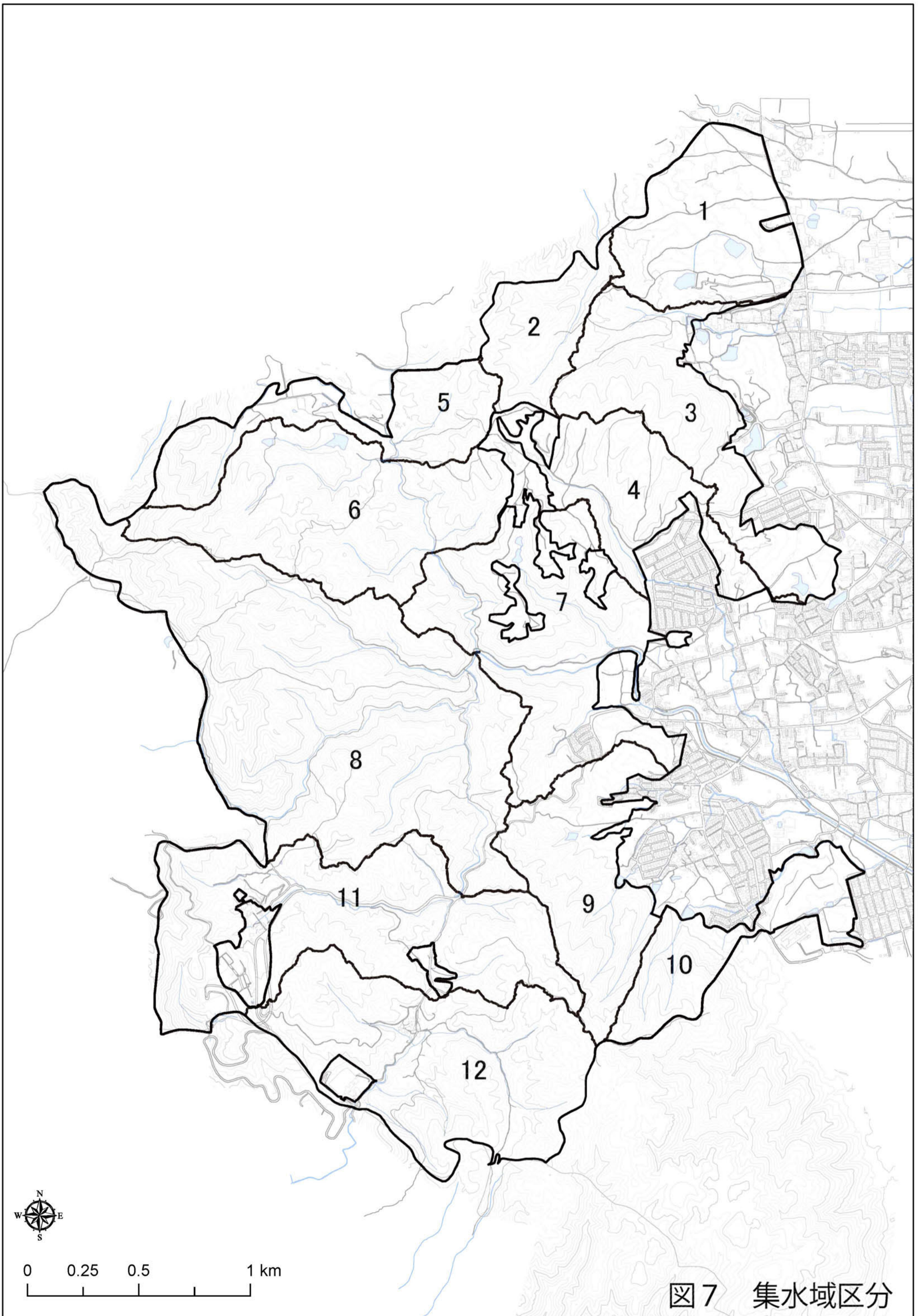


図7 集水域区分



# 傾斜区分

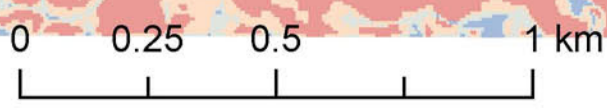
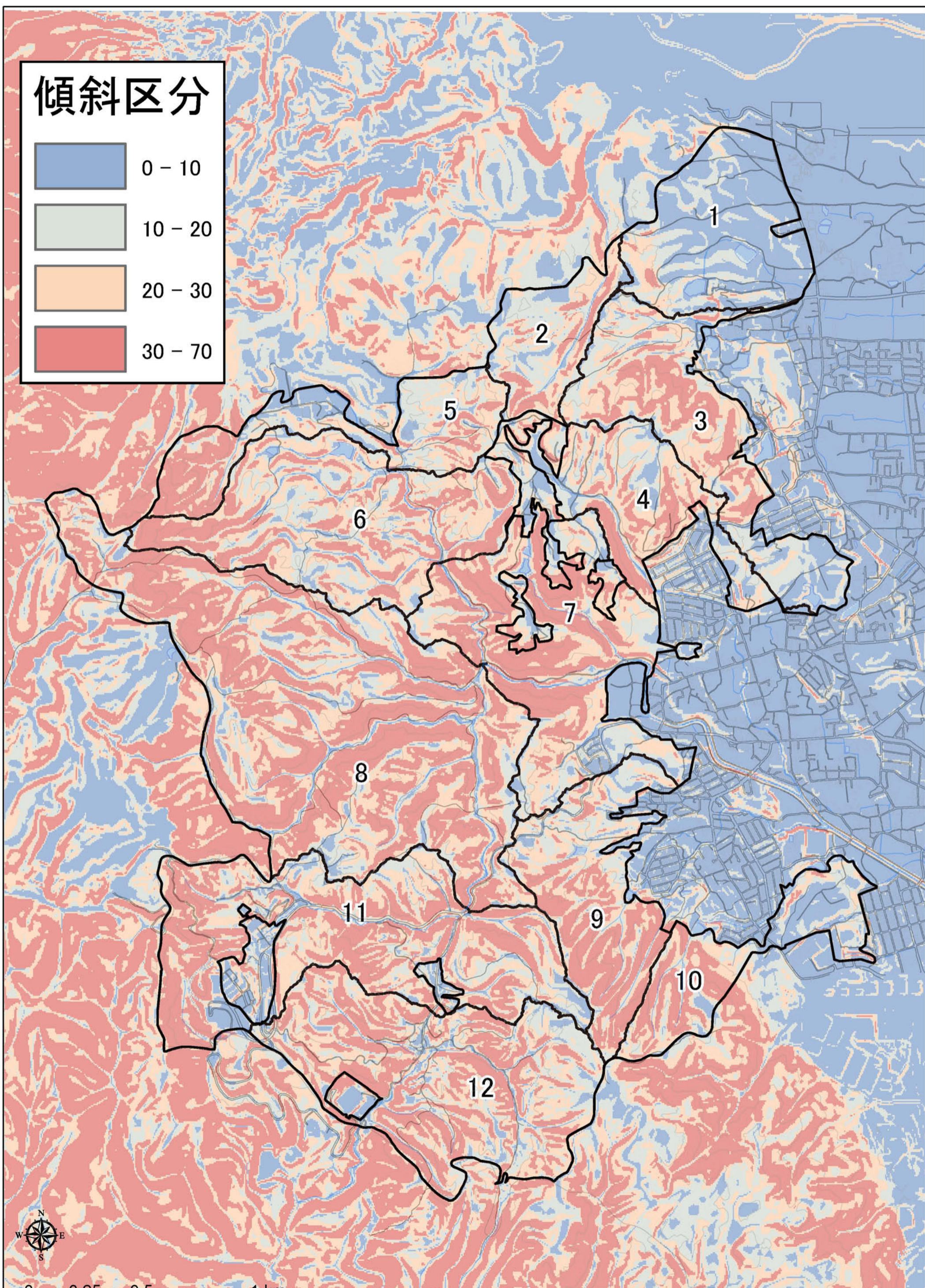
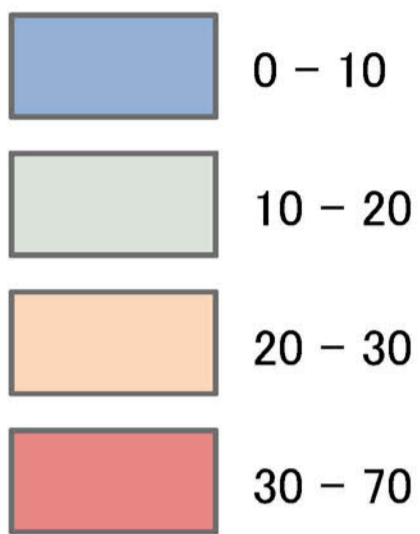


図8 傾斜区分



# 凡例

- カシナガ被害木
- H25災害箇所

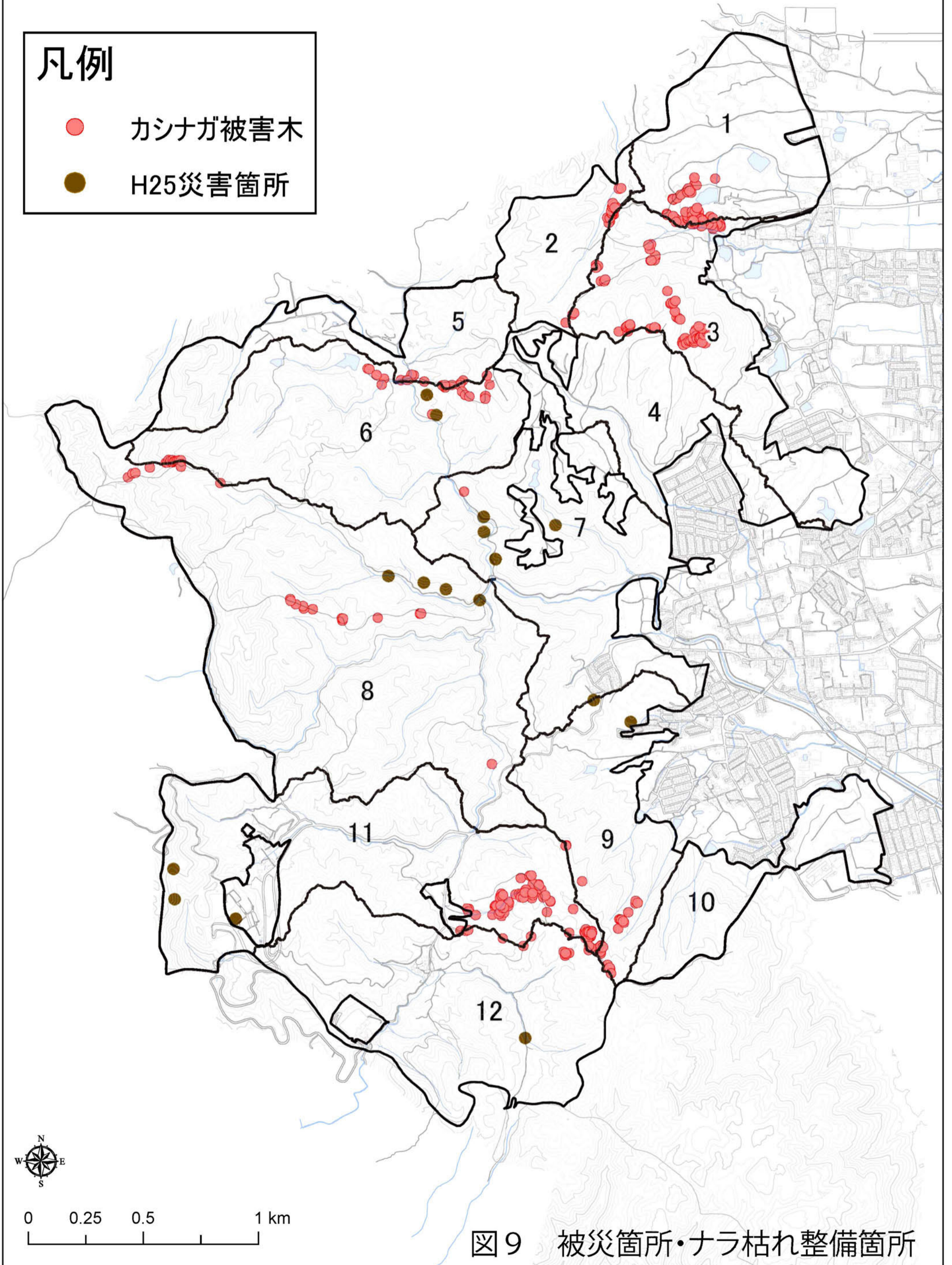


図9 被災箇所・ナラ枯れ整備箇所



# 凡例



既存整備地



サントリー  
天然水の森

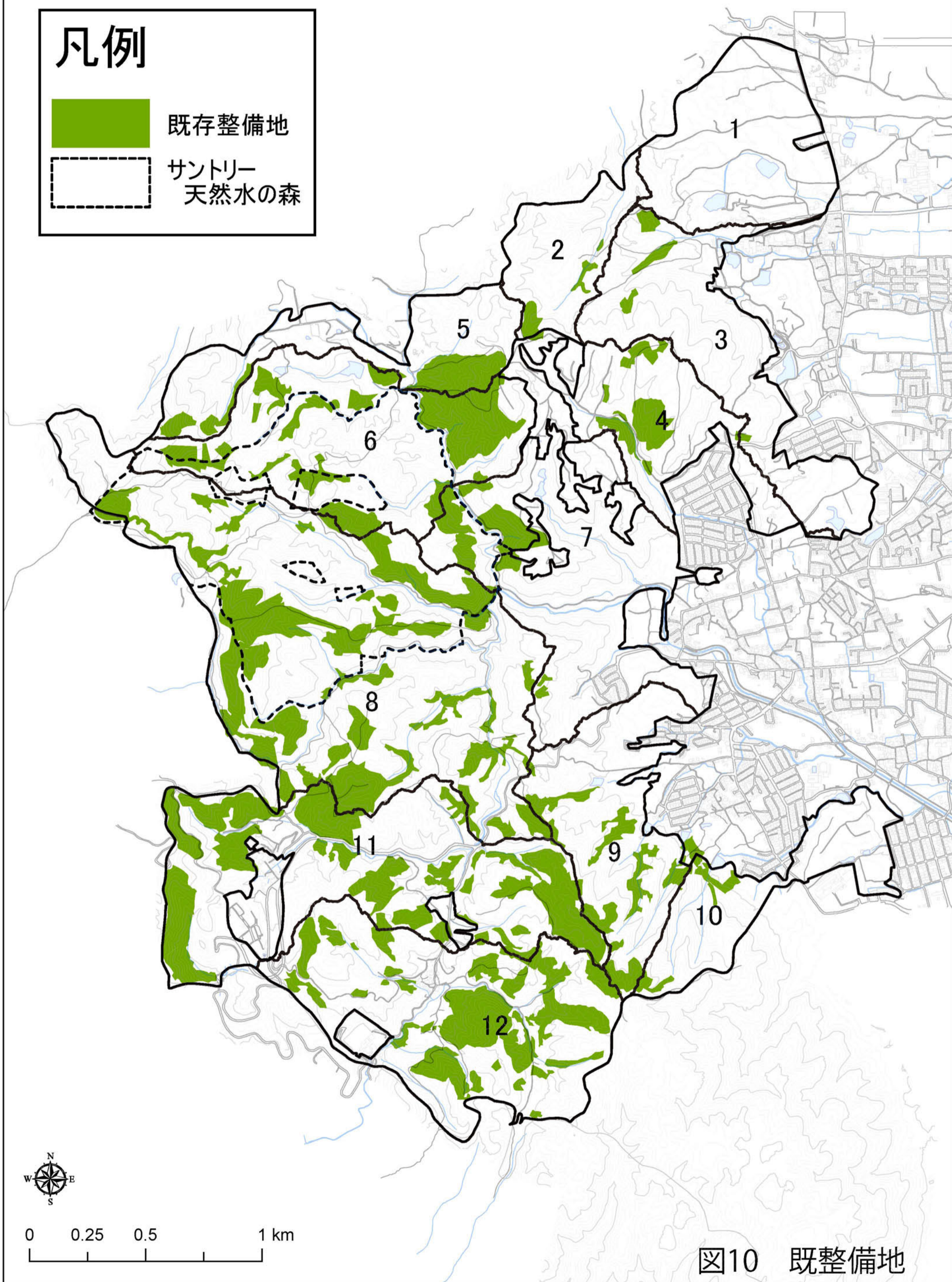


図10 既整備地



- ・森林がもっと”得がたいもの”であることをPR、教育すべきである。
- ・常緑照葉樹を敵視せず積極的意味を持たすべきである。
- ・数値化出来るものは数値化(推計でもよい)して議論してほしい。
- ・土壌を作ると言うことをもっと議論してほしい。
- ・西山協議会が到達した知見をもっと一般の人にも分かるように発信してほしい。
- ・西山の諸量を計量化してほしい。  
地下水量、土壌量、木材量諸元、CO<sub>2</sub>吸収量、C固定量
- ・農業、農地との関係をもっと議論してほしい。  
取り巻く農地の面積、農業に利用している河川水、地下水
- ・新設予定の祝日(8月11日 山の日)を意識して活動を盛り込んでほしい
- ・モニタリング1000 里地調査活動

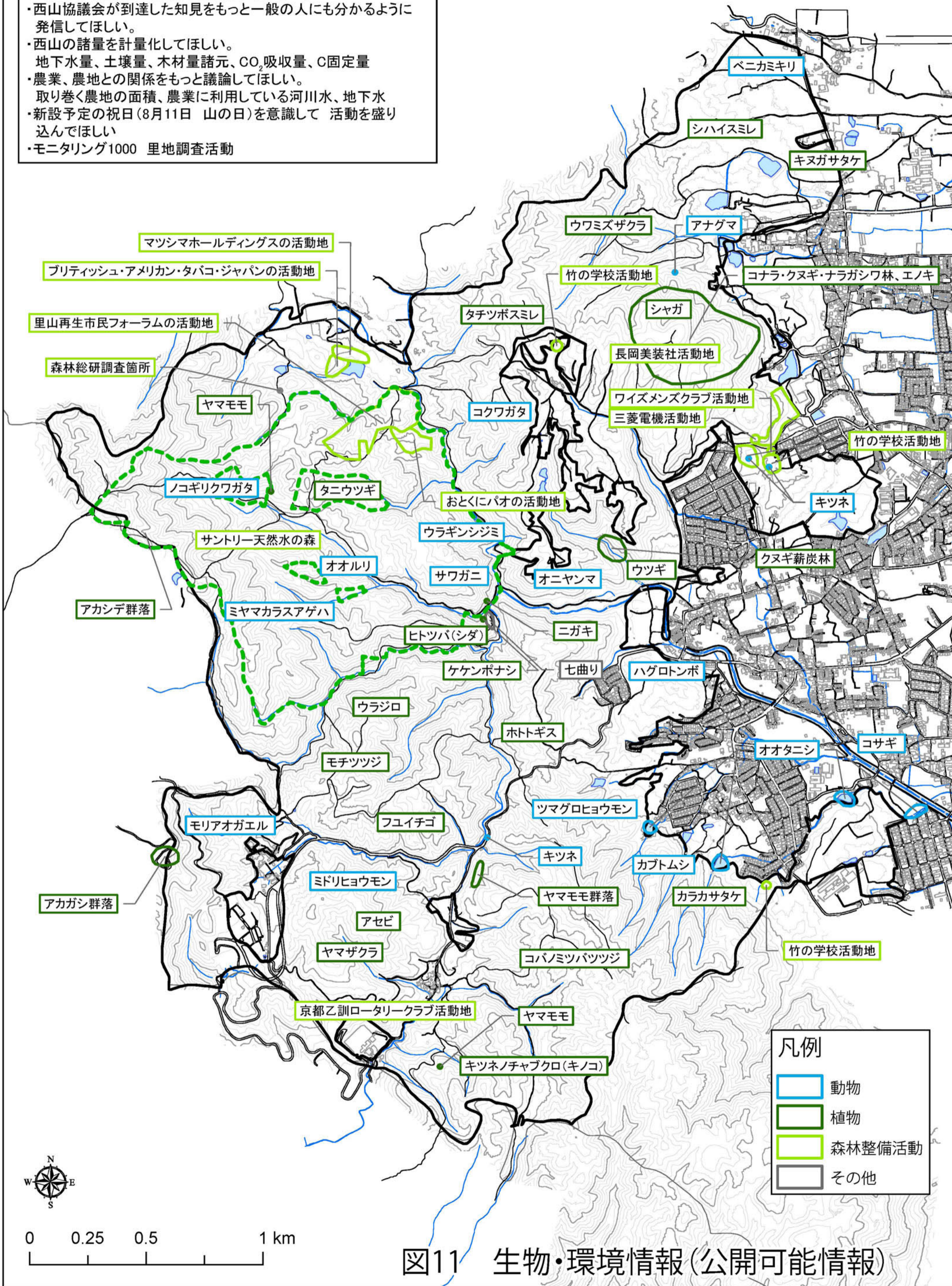
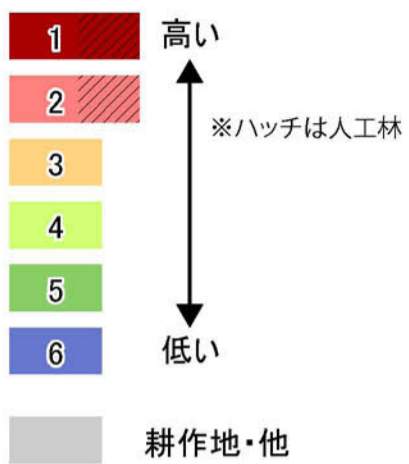


図11 生物・環境情報(公開可能情報)



植生から評価した  
植生域区分と整備の優先順位



サントリー天然水の森  
きょうと西山エリア

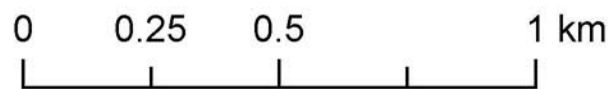


図12 特記事項を加味した各地の整備優先順位



路網

- : 道路 (舗装路・林道・作業道・施業路)
- : 歩道 (国土地理院 1/25000地形図および職員が聞き取った存在した歩道など)
- : 踏跡 (航空測量より判読)

重点ポイント

- ⊙ : 西山キャンプ場
- : 水辺 (河川やため池)

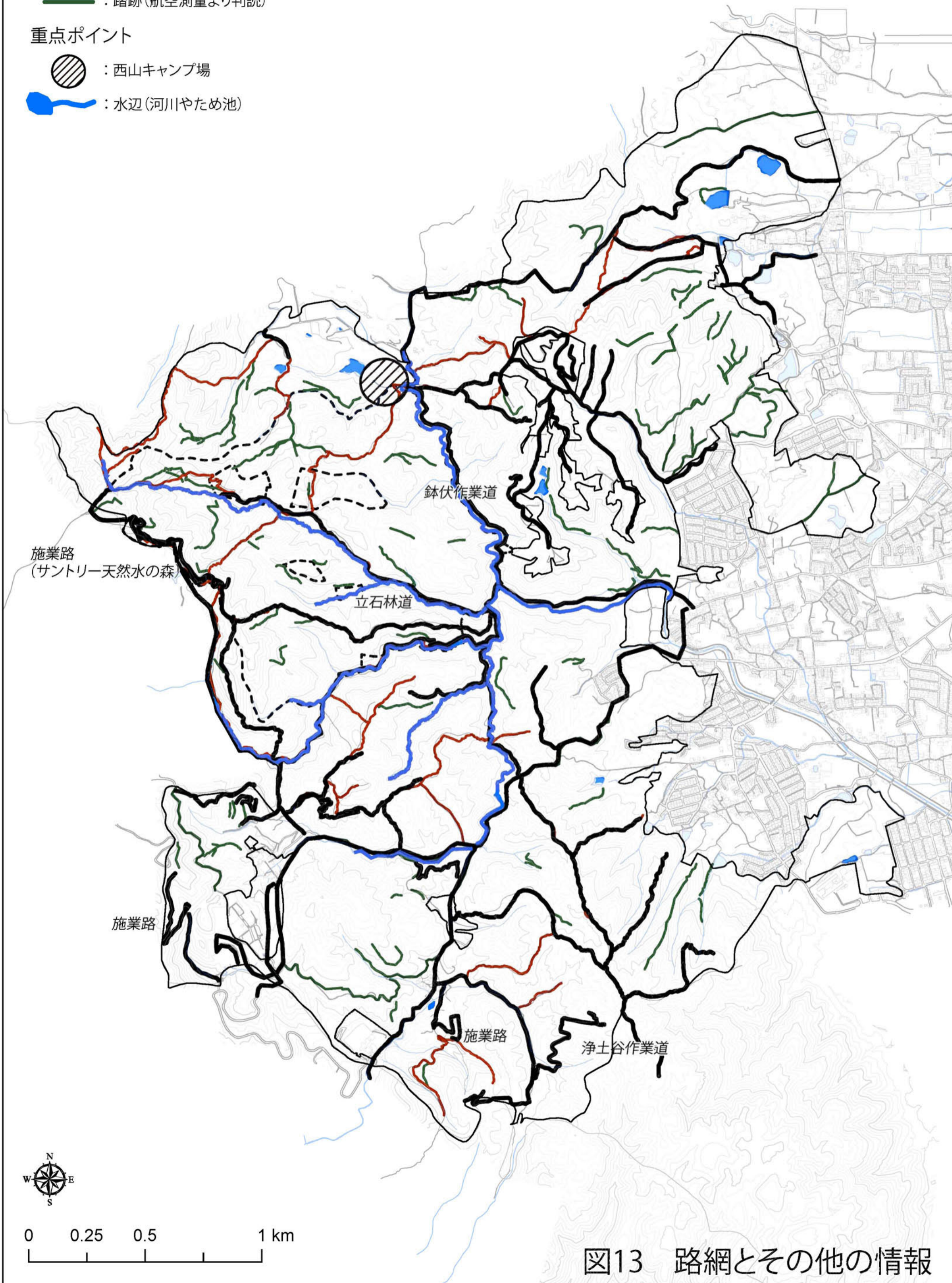


図13 路網とその他の情報